



SecurityScorecard

Making the world a safer place

自社グループ／取引先のセキュリティリスクを定量的に可視化
攻撃されにくい環境の維持を実現

診断に必要なのは、ドメイン名を入れるだけ

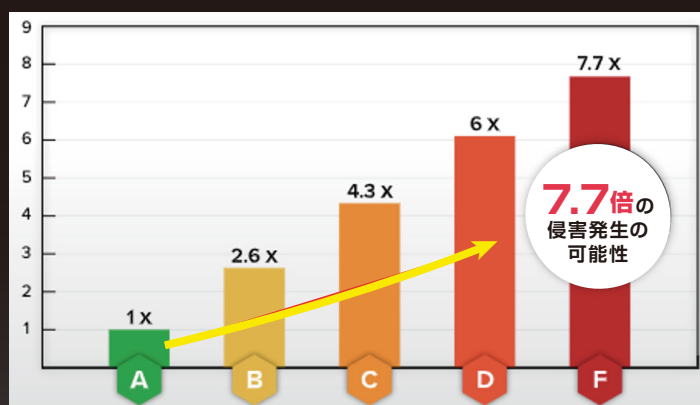
XXXXX.com/.jp/.co.jp



■ 攻撃者視点で収集した情報から、
総合評価／10項目について、
5段階／100点満点でスコアリング



■ 侵害される可能性の相関関係があるスコア



約3年の遡り調査の結果、F評価の企業は、A評価の企業より

7.7倍 攻撃を受ける可能性があることが確認されています。

自社／サプライチェーンのサイバーセキュリティ状況を把握し、よりよいスコアを維持し続けることで、サイバー攻撃を受ける可能性を低減することが可能です。

各スコアの根拠は、項目毎にドリルダウンして詳細を確認可能。



SecurityScorecard



企業の皆様が抱える課題

自社のセキュリティ状況はどうなってる?

同業他社と比べてどうなのか?

グループ会社／取引先含めた
サプライチェーン全体となるとなおさら難しい...

脆弱性調査は年に一度行っているが、それでいいのか?

SecurityScorecardの特徴

■ 自社グループ／取引先のセキュリティ状況を
5段階(A,B,C,D,F)／100点満点で評価

- 総合評価と10項目毎の評価を提示
- セキュリティ状況を具体的なスコアで把握／共有でき、
経営陣／取引先との目標設定にも利用可能



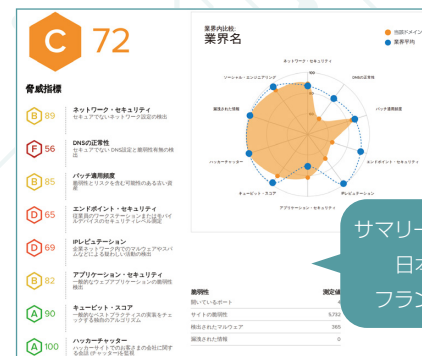
■ 競合や取引先のスコアも確認可能

5 companies	自社	競合A	子会社A	取引先A	取引先B
Print to PDF	B 88	A 90	B 80	C 79	D 63
FACTORS					
Network Security	C 70	D 68	C 79	C 77	D 66
DNS Health	A 91	A 90	A 91	A 92	D 65
Patching Cadence	A 91	B 85	A 82	B 87	D 69
Endpoint Security	A 100	A 100	A 100	D 63	D 43
IP Reputation	A 100	A 100	A 100	A 100	A 100
Application Security	C 75	A 91	D 51	B 84	D 67
Cubit Score	A 100	A 100	A 90	A 100	A 100
Hacker Chatter	A 100	A 100	A 100	A 100	A 100
Information Leak	A 100	A 100	A 100	A 100	A 100
Social Engineering	A 100	A 100	A 100	A 100	A 100

■ 攻撃者視点で、非侵入で外部から得られる
情報から迅速にスコアリング

- 攻撃者が攻撃前に行う初期調査で収集する情報を、システムに
過度な負荷をかけることなく収集
- スコアの変動を迅速に把握し必要な対応を取る事により、
脆弱な期間を短くすることが可能

■ レポートは日本語でも作成可能



SecurityScorecardの活用例

自社グループの
セルフチェック

国内／海外の自社グループ
ドメインのセキュリティ状況
把握に活用

ベンダー
リスクマネジメント

取引先含めたサプライチェーン
全体のセキュリティ状況把握
に活用

経営陣向けの
レポート

具体的な定量評価を使って、
自社グループや取引先の
セキュリティ状況報告に活用

サイバー
デューデリジェンス

企業買収時や団体加盟企業
のサイバーセキュリティ信用
調査に活用

▶ お問い合わせ



SecurityScorecard

E-mail: info@securityscorecard.io | <https://securityscorecard.com/>